

## 新規実施項目のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

敬具

( 記 )

【項目名】 : アスペルギルス-IgG 抗体

【受託開始日】 : 2024年9月9日(月)受付分より

### 【受託要領】

項目名称	アスペルギルス-IgG 抗体
項目コード	5868
検査容器	1・分離剤入凝固促進ピッツ
検体量・保存	血清 0.3mL ・ 冷蔵
測定方法	EIA法
基準値 (単位)	濃度:5.0未満 (AU/mL) 判定:(-)
報告範囲	濃度:1.4未満~80.0以上 判定:(-)、(±)、(+)
報告桁数	濃度:小数第1位 判定:なし
所要日数	3~9日
実施料	390点 本検査は、ELISA法により、慢性進行性肺アスペルギルス症又はアレルギー性気管支肺アスペルギルス症が疑われる患者に対して測定した場合に390点を算定する。なお、本検査は、関連学会の定める指針に従って実施すること。
判断料	144点【免疫学的検査】

アスペルギルス症は、環境中に広く分布する真菌のアスペルギルス属によって引き起こされる疾患です。原因菌はAspergillus fumigatusが最も多く、免疫力が低下している人や肺に空洞性病変がある人が菌を吸い込むことで肺の感染症が生じる日和見感染症です。本検査は特に、慢性肺アスペルギルス症(CPA)やアレルギー性気管支肺アスペルギルス症(ABPA)に対して高い陽性率を示すことから臨床診断に有用です。この度、体外診断用医薬品として薬事承認され、保険適用可能な試薬を用いた検査の受託を開始いたします。

### ●アスペルギルスIgG抗体(判定基準)

判定	濃度
(-)	5.0未満
(±)	5.0~10.0未満
(+)	10.0以上

### 【検査方法の参考文献】

Dumollard C. et al. : J. Clin. Microbiol. 54, 1236-1242, 2016.